

■豪州：排出量取引制度の廃止法案を再上程

オーストラリア政府は2014年6月23日、2012年7月に労働党政権時代に導入された排出量取引制度の廃止法案を下院議会に再度上程した。下院では与党が多数を占めるため、法案が通過すると見られる。アボット政権（自由党と国民党による保守連合）は、2013年9月の総選挙で排出量取引制度の廃止を選挙公約に掲げて政権交代を果たし、2013年11月に議会に法案を提出したが、2014年3月に労働党と緑の党の反対により上院で否決（反対33、賛成29）された。改選された上院議員が同年7月7日から始まる通常国会に登院することから、野党のうち労働党と緑の党に属さない議員8名が賛成すると成立が見込まれる。オーストラリアでは同じ法案が国会で二度否決された場合には、両院を解散して総選挙を実施する権限が首相に付与されている。